



窯詰め

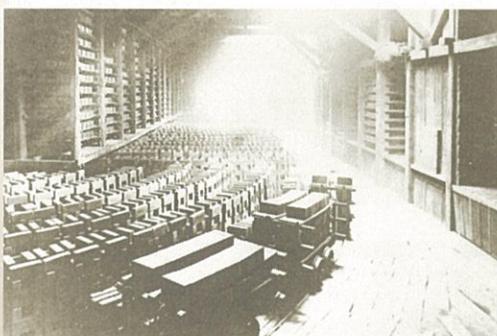
窯の内部を18部屋に分け、1部屋に約18,000個の煉瓦を詰めました。

すべてが上手に焼き上がるよう、隙間を空けながら積み上げます。



投炭

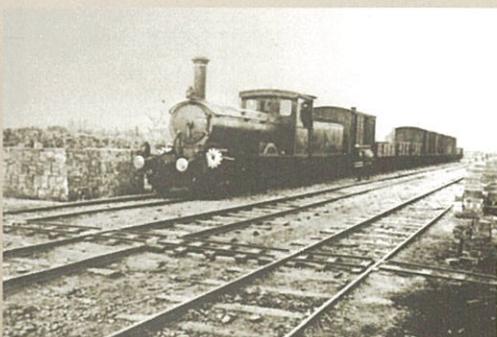
窯の上屋である2階では、燃料である粉炭を窯内部に向けて投入します。一度点火すると火を絶やすことなく3交代制で煉瓦を焼き続けました。



コール式乾燥室

上屋の3階では、窯の余熱を利用して煉瓦素地を乾燥させました。レールが敷かれ、煉瓦を運ぶためのトロツコが走っていました。

天候に左右されないため、大量生産の一翼を担いました。



専用鉄道

明治28年、深谷駅から工場まで、日本初の専用線が開通しました。当初は蒸気機関車でしたが、途中からディーゼルに替わります。

昭和50年の廃止後は、遊歩道として市民に開放されています。

(スタンプ)



国道17号バイパス 明戸西交差点 北方向直進 5分
国道17号 稲荷町交差点 北方向 10分
JR高崎線 深谷駅より4km

旧煉瓦製造施設

- 所在地：深谷市上敷免28番地10
- 見学：土・日曜 9:00~16:00(入館は15:30まで)
※平成30年7月現在
- 問合せ：048-577-4501(深谷市教育委員会文化振興課)

国重要文化財

日本煉瓦製造株式会社

旧煉瓦製造施設

日本煉瓦製造株式会社の歴史

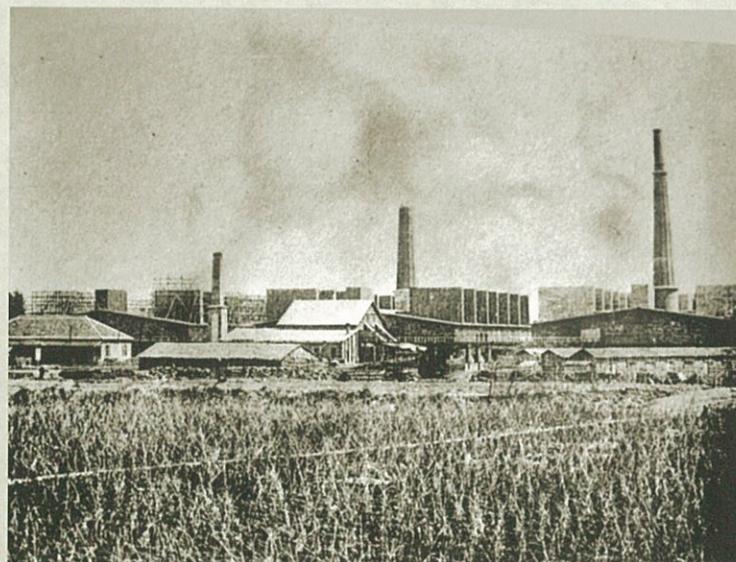
明治政府は、欧米列強に対抗するため日比谷周辺を近代的建築による官庁街とする「官庁集中計画」を立ち上げ、明治19年に臨時建築局を設置します。建物群は西洋風の煉瓦造りとするため、多量の煉瓦が必要となりました。

財政的に厳しい政府は、実業界の重鎮渋沢栄一に大量生産が可能な機械式レンガ工場の設立を要請しました。

従来から瓦生産が盛んで、煉瓦素地用の良質な粘土が採れること、また小山川から利根川に下り、江戸川を経て隅田川を通り東京方面へ煉瓦を運ぶための舟運が見込めることから、渋沢は実家近くの上敷免村を工場建設地として推薦します。

明治20年、渋沢栄一ほか4名の連名で「会社設立願」を東京府庁へ、「煉瓦製造所設立願」を埼玉県庁へ提出し、それぞれ認可されました。建設にあたりドイツ人煉瓦技師チーゼを雇い入れ、設計等にあたらせます。

明治21年、まず事務所の建設を行いました。窯は、ドイツ人フリードリッヒ・ホフマンが考案した最新式「ホフマン式輪窯」の図面をドイツから取り寄せ、建設を始めます。また、蒸気汽罐・機械・素地製造機などは、ドイツから輸入しました。同年9月に1号窯の火入れが行われ、10月4日には臨時建築局より煉瓦22万本の注文を受けました。翌22年には2号窯と3号窯が完成し、操業を拡大しました。



明治22年頃の煉瓦工場

最盛期には6基の窯が稼働していた工場も、時代の波に押され、平成18年には約120年におよぶ会社の歴史に幕が降ろされました。

※表紙の「上敷免製」の煉瓦刻印は、わかりやすくするため合成しています。

重要
文化財

旧事務所



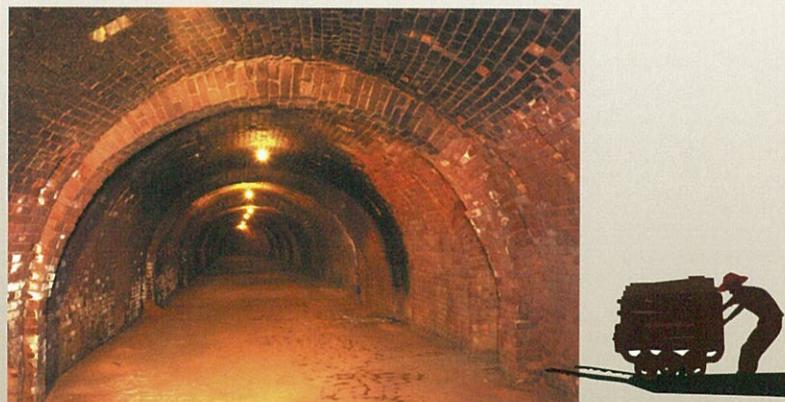
Nascentes Ziese

煉瓦工場の建設および煉瓦の製造指導にあたったドイツ人煉瓦技師チーゼの居宅兼事務所として、明治21年に建てられました。間口27m、奥行16mの木造平屋建、寄棟造、瓦葺、外壁板張り、煉瓦積基礎で、裏側に幅3mのベランダを設けています。内部の天井と壁は漆喰塗り、天井は円形唐草模様の造り出し装飾があり、床は総板張りです。

明治22年チーゼの帰国後は会社の事務所として使用され、昭和53年からは煉瓦史料館として貴重な文書・写真等を展示しています。

重要
文化財

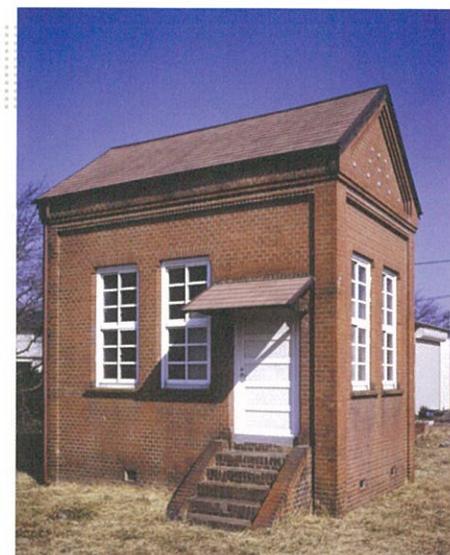
ホフマン輪窯6号窯



ドイツ人ホフマンが考案した煉瓦の連続焼成が可能な輪窯です。明治40年の建造で、長さ56.5m、幅20m、高さ3.3mの煉瓦造りです。内部を18の部屋に分け、窯詰め・予熱・焼成・冷却・窯出しの工程を順次行いながら移動し、およそ半月かけて窯を一周しました。生産能力は月産65万個で、昭和43年までの約60年間煉瓦を焼き続けました。

重要
文化財

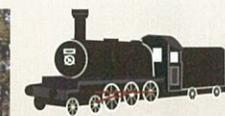
旧変電室



それまでの蒸気機関から電動機に切り替えるため、明治39年市内で最初に電灯線を引き、変電室として建てられました。間口5.83m、奥行き4mの煉瓦造平屋建、切妻屋根、コロニアル葺です。内部の壁は漆喰塗り、床は板張りです。

重要
文化財

備前渠鉄橋



煉瓦の大量輸送を可能とするため、高崎線深谷駅から工場までの約4kmの区間に、日本初の専用線を明治28年に敷設しました。この際備前渠にか

けられた鉄橋で、イギリス人ポーナルが設計した基本定規に基づいたI字形鋼板を橋桁とする「ポーナル型プレート・ガーダー橋」が採用されました。

橋台の煉瓦は、日本煉瓦製造株式会社に焼かれたものです。